

形で対応していくのか。

答弁（教育長）

審議会の答申を重く受け止め、真摯に検討を重ねてきている。現在具体的な予定はないが、複式学級が続くような状況、地域からの要望が強くなった時が改めて統合を考えていく時期なのではないかと考えている。

質問

市長は答申に対してどういう決意で、どう対応していく考えなのか。答申を受け止めているのであれば、結論を出さなければならぬのではないか。

答弁（市長）

統合については慎重に考えていかなければならないと同時に小規模学校の良さも考えていかなければならない。また、地域の声があがってきているか、複式学級があるかを考慮し、当面結論を出す考えはない。

質問

取手市では学校の統合が進められているようだが、近隣の状況はどうなっているか。

答弁（教育長）

取手市では数年前から統合されてきている例があり、来年度以降も統合の予定があるようである。県西地区ではここ数年例がなかったが、下妻市の蚕飼小学校が

宗道小学校に編入されると聞いている。ほかにつくば市、石岡市で統合の例がある。

（その他の質問）

○西幹線道路の買収と鬼怒川に至るまでの用地の確保について



お・も・て・な・し
いつ考えるの？今でしょ！

東京オリピックの開催と茨城県の魅力度向上について、常総市が取り組むべき課題と方策（一問一答）

金子 晃久 議員



2020年東京オリピックの開催が決定し、選手団の受け入

質問

れや観光地の整備など、すでに動き始めている自治体もある。前年には茨城国体が開かれ、競技関係者、観戦者をどう取り込むかを考えることは重要な課題である。この好機に常総市として何らかの施策を検討したのかやるんなら「今でしょ！」という形だと思う。

答弁（企画部長）

現在、具体的な誘致は検討していないが、全庁挙げて取り組んでいきたい。国体も、おもてなしの心を持って最高の大会にしたいと考えている。

答弁（市長）

オリピックの開催は大きな契機であり、国体の会場になっていることは相乗効果が期待できる。国体に向けて努力する中で、五輪との関連性も検討することはできると思う。

質問

茨城県の魅力度が最下位になってしまったが、県下44自治体の一つとして重く受け止めなければならぬ。何がいけないのか。

答弁（企画部長）

情報発信が十分でないことも一つの要因と思われる。

質問

昨年度のブランド戦略事業の

評価は。

答弁（企画部長）

議論の中で、様々な課題を認識できた。アンケート調査の結果を踏まえ今後活用していきたい。

質問

茨城県の最下位という汚名を返上するため、44自治体の一つとして、そういう事業を継続的に続けるよう要望する。

（その他の質問）

○降雪対策
○市民憲章について

魅力度ランキング（47都道府県）		
2011年	2012年	2013年
45位 埼玉県	45位 佐賀県	45位 埼玉県
46位 佐賀県	46位 茨城県	46位 佐賀県
47位 茨城県	47位 群馬県	47位 茨城県

株式会社地域ブランド総合研究所調べ

ついに実現 高崎坂東線

高崎坂東線の進捗について
(二問一答)

風野 芳之議員



質問

高崎坂東線は9月議会です道に認定され、5カ年計画で整備

完了して県道に戻すことになっているが、現在の進捗状況は。

答弁(都市建設部長)

平成26年度から社会資本整備総合交付金事業として採択を得るために国へ要望している。交付金の内示をいただき、26年度予算の議決をいただければ、26年度より着手していきたい。

質問

未買収地があるようだが、市と県の買収価格に差はあるのか

答弁(都市建設部長)

茨城県が最後に買収を行ってから10年以上経過しているため、以前の用地単価を基準としながら、地価の変動を考慮して再度不動産鑑定を行い、最終的に単価を決定していきたい。

質問

地元の説明会は26年度になっ



供用開始された高崎坂東線バイパス

てから実施するのか。

答弁(企画部長)

3月頃に交付金の内示をいただけると思うので、内示後に説明会に入っていきたい。

質問

未買収の土地はどれくらいあるのか。

答弁(企画部長)

買収率は70%で、面積で言うと約75%。32名の方の用地買収が未解決である。

質問

県との話し合いは順調に進んでいるのか。

答弁(都市建設部長)

県とは着々と話を進めている。しっかりとした体制をつくって事業に当たっていきたい。

質問

1日でも早い道路の完成をお願いする。

(その他の質問)

○住民サービスの推進について

目指せ 教育向上

教育補助員の拡充について
(二問一答)

遠藤 正信議員



質問

小中学校において、特別な支援を必要とする児童生徒が多く

なってきたり、今年度は現在210名と聞いている。現場の先生方は、いろいろな形に配慮し、その本人の特性を生かしながら、社会に適応できる教育を感

じられる。それらの問題について質問する。

答弁(教育長)

個別の教育的ニーズのある子に対して、そのニーズに的確に答える支援を提供することが課題となっている。今後、障がいのある子が就学するケースが多くなることも考えられ、教育補助員の制度を充実させていくことは必要であると考えている。

質問

各学校で教育補助員の要望はどれくらいあるか。

答弁(指導課長)

平成26年度に向け、小中学校、幼稚園で計36名として予算要求している。

質問

通常学級での教育を希望している生徒数は。

答弁(指導課長)

30名前後が希望している。

質問

36名の教育補助員を要望しているとのことだが、拡充について市長は今後どう考えるか。

答弁(市長)

できるだけ普通学校で子どもを育てたいという要望に応え、可能な範囲で増員していきたい。一方、その子の成長にとって普通学校での教育がいいのか、特

別支援学校での教育がいいのかという点も大切であり、慎重に考えていくべきだと思ふ。
(その他の質問)

○公共施設の稼働率と対策について



危険道路の早期点検を

市道東560号線の側道について (総括質問)

篠崎 孝之議員



質問

旧主要地方道土浦境線、現在の市道東560号線は、一部側

道がつくられているが、残りはそのままになっている。この道路は中学生の通学路であり、買い物に行く方も利用しているの

で、安全上側道があったほうが良いと考えるが、なぜ今までつくられなかったのか。

答弁 (都市建設部長)

この道路の車道はほとんどが整備されているが、歩道は一部だけとなっており、約330メートルの区間が未整備となっている。八間堀川分水路ののり面天端から車道舗装面との間に余裕幅があり、歩道は設置可能と思われるが、一部茨城県企業局管理のコンクリート構造物があり、歩道の設置には多額の費用を要すると思われる。しかしながら、通学路ともなっているもので、今後企業局と協議を行い、歩道の設置が実現できるように前に検討していきたい。



市道東560号線

質問

通勤時間帯には市道を迂回する車が多く危険性が高いので、できるだけ早く実現するよう県にも働きかけていただきたい。

みんなでやろうね健康づくり

JOSO☆ハッピー体操の普及について尋ねる (総括質問)

堀越 輝子議員



質問

JOSO☆ハッピー体操は、当市が筑波大学などと連携して

つくったもので、制作には大学教授などの専門の方々が協力し、歌詞は市民からの応募による多くの常総オリジナルの体操である。多くの自治体同様、常総市も少子・高齢化等の要因により、年々医療費が増加傾向にあるが、全ての市民にこの体操の普及を進めることが現状改善の大きな力になるのではないか。

①普及活動の現在の状況はどうなっているか。②体操の効果

の検証について、大学の研究チームでは長期的データを取っていくとのことだが、市ではどのようににかかわりを持っていくのか。③腸内環境の改善の働きを持ち、免疫力向上に有効とされるヨーグルトの摂取を普及させる考えはあるか。④今後、体操により魅力を持たせてPRしていくために、どのようなアイデアを持っているか。



JOSO☆ハッピー体操教室

答弁 (保健福祉部長)

①本年4月から11月までの間に125会場を実施し、参加者3080名。年齢は幼児、小学生、34歳から93歳の成人。今年度中には市内すべての幼稚園、保育所で実施する予定。②効果